



もの も くうき ひつよう  
物が燃えるのにどうして空気が必要なの

くうき そ さんそ  
空気はおもにちっ素と酸素からできている

わたしたちが生きていくうえで、空気は最も大切なものですが、物を燃やすためにも、この空気が必要です。

空気は色や、におい、味がなく、おもに、ちっ素と酸素からできている混合物で、ちっ素4、酸素1の割合になっています。

くうきちゅう もの も さんそ  
空気中で物を燃やすのは酸素のはたらき

酸素は色もにおいもなく、空気よりほんの少し重い気体です。

酸素は物と結びつきやすい性質をもっていて、物と結びついて熱や光を発生させることを、燃焼といいます。

物が燃えるためには、その物が燃える物質であること、酸素が十分あること、物が発火点以上に熱せられることが必要です。

マッチやガスは、空気中の酸素がなければ燃え続けることはできないのです。

(監修 小川 格)

